

# 信愛園通信

作成/広報委員会：新垣・田口・松崎

令和3年

(2021年)

第20号

6月1日発行

広 報 紙

社会福祉法人 北摂信愛園

発行者/社会福祉法人 北摂信愛園

〒563-0217

大阪府豊能郡豊能町川尻 72-5

TEL:072-739-0456

FAX:072-739-0457

[ホームページ]

<http://www.hokusetsu-shinaien.or.jp/>



4/1



## 元気クラブ お花見

4/5



4/9



4/12



今年のお花見外出は4班に分かれて実施しました！

今回は12日の班に同行された中嶋チーフにコメントを頂きました。

～お花見外出を終えて～

4月12日、5人の利用者さんと一緒に近隣の「高山コミュニティーセンター」へ昼食外出に出かけました。コロナ禍におきましても他者との接触の少ない場所を選んで外出出来るよう随時企画してまいります。

今年は桜の開花が早く当日はほとんど散ってしまっていたましたが、天候もよく、のんびり昼食を食べることができました。お昼のメニューは「ととろみ亭」のかつ丼。量もしっかりあって食べ応えがあり皆さんも満足されたことと思われます。昼食後は校庭散策をしておやつのバームクーヘンとコーヒーを召し上がっていただき帰園しました。

園内とは違う利用者様の表情や仕草に同行した職員も嬉しく感じました。

生活班チーフ 中嶋政樹





いただきます！！



はい！チーズv



デザートも手作り♪



桜が見えるで！



いい天気になってよかった



ととろみ亭さんのお弁当とかつ丼

+NICO さんの手作りおべんとう



日差しが気持ち良いね



のんびり出来るわ～



広くて走りやすーい♪



美味しい！



# 職員の顔 Vol.9

どんな人がどんな想いで



生活支援員

いまがわ

今川

まさゆき

雅之

さん

## それぞれの感覚を一つに、つながる支援・・・

今回は、チーフの今川さんにお話を伺いました。

———支援において、大切にされていることは？

「利用者さんが、何を伝えたいか、何を感じているのかということに接した時の声の質や感覚で読み取ることです。」

———感覚で読み取るという表現は、利用者さんを理解する上でより細かな気づきにつながるような気がします。続いて、チーフという立場から施設全体の支援について、今後の課題やすべきだと思うことがあればお聞かせください。

「職員同士のコミュニケーションです。それぞれが、一步踏み込んだ意思疎通を行い、支援にあたることで利用者さんに還元されると思っています。」

———コミュニケーションを図る上で、意識されていることはありますか？

「利用者さんはもちろんですが、職員に対してもちょっとした変化に気づくように意識はしています。例えば、誰かが髪の毛を切ったとか些細なことでも。」

それぞれの感覚で気づき、共有することの大切さという今川チーフならではのお話を伺うことが出来ました。



## お花見デザート



可愛い飾り付けの中、春のスイーツを楽しんで頂きました。

4/15

## 令和 3 年度（2021 年）社会福祉法人北摂信愛園 事業計画

## ① 重点目標

- ・二度と虐待や不適切な支援を行わないという決意で、利用者の人権を尊重する支援を行います。
  - ・定期的に権利擁護委員会を行い、不適切支援の状況を把握すると同時に、不適切支援を行わない。より良い支援に向けた啓発活動を行います。
  - ・良い支援は称え、不適切な支援は、その場で注意できる職場風土の醸成を進めます。
  - ・支援技術の向上・キャリアアップのための研修を実施し、外部研修の受講を積極的に進めます（コロナ禍にあつては、リモート研修への参加など）。
  - ・関係法令や法人の諸規程、社会のルール等を守り、法令遵守を徹底し利用者の権利擁護に努めます。
  - ・第三者委員会の定期的開催を行い、利用者・家族からの苦情や相談機能を高め、客観的立場からの法人への助言指導の強化を図ります。
- (ア) 利用者のニーズや要望を基に御家族の意見を取り入れ、利用者一人ひとりに合わせたサービスを提供します。
- ・個別支援計画に基づいたモニタリングを適切に行い、ケース会議を通じて個別支援計画の見直し、利用者の選択制を増やし、日常的に意思決定支援に取り組み、最も有効な支援を提供します。
  - ・個人の興味、関心に焦点を当てた日中活動・余暇活動を提供するために日中活動そのものを常に見直し、利用者が楽しんで活動ができるようにします。そして日中活動を通して情緒の安定を図ることができるよう支援します。
  - ・利用者一人ひとり障害の状況が異なり、全員参加で楽しめる行事が少なくなってきたことに鑑み、行事を精査し、内容によっては縮小・変更・廃止を行ってきましたが、特性に応じたイベントや個別行事、日頃の余暇活動の充実・強化を図ります。  
また、農作物の栽培活動を通じて、利用者の育てる楽しみや可能性を引き出し、潤いのある生活の強化を進めます。
- (イ) 利用者が安心して安全・快適に生活ができるように支援します。
- ・事故が起きた時に事故報告書を提出するだけでなく、何かあった時にはヒヤリハットを提出します。また、事故報告書・ヒヤリハットを定期的に点検し、問題点の洗い出しを行い、全職員で情報を共有し、利用者が事故にあわないように未然防止策を講じます。
  - ・利用者の障害状況や行動特性を考慮し、設備・備品等の点検を行い、落ち着いて生活ができるように工夫します。常時介護が必要な利用者には、洗面・排せつ・入浴等の支援を行い、快適に生活ができるように支援するとともに、日課を通して基本的生活習慣が身に付くよう支援します。
- (ウ) 保健・健康に関する支援
- ・日常生活支援の中で、利用者自らの保健意識の向上をめざし、食事前・排泄後の手洗い、手指消毒等を徹底します。
  - ・毎朝の健康観察、定期的な体重測定や血圧測定を行うことにより、心身の異変の早期発見に努めます。更に、医師の訪問診療を実施することで、疾病の早期発見、早期対応、必要に応じて専門医の適切な治療を受け、健康な生活が送れるように支援します。
  - ・嘱託医と密に連絡を取り、利用者の健康状況を報告すると同時に、定期健康診断等を通して疾病の早期発見・早期治療をする。また、定期的なオーラルケアを行うことにより、口腔内の健康、維持増進を図ります。
  - ・定期的に感染対策委員会を開催し、コロナウイルスをはじめ、インフルエンザや、ノロウイルス等の感染性胃腸炎が施設に持ち込まれないような予防対策を講じます。また、持ち込まれた際の対応を日頃から話し合い、早期鎮静化に向けて準備をします。（事業継続計画の策定）
  - ・なお、平成 28 年度末に導入したオゾン空気清浄機、オゾン水器を有効に活用し、感染症の防止はもとより機器を活用した除菌、消臭や清掃等、快適空間の創出、さらには白癬の予防と改善に取り組みます。さらに、令和2年に導入した持ち運びに便利な小型オゾン燻蒸器の機能的活用を行います。
  - ・また、痛みなどの訴えや食欲の低下、普段と異なる様子など観察力を高め、病気等が疑われる場合、継続的な様子観察を行うのではなく、積極的に医療機関の受診を行います。
- (エ) 食事等に関する支援
- ・給食業務委託会社との連絡調整を十分行いながら、医食同源を念頭に食事の質の向上に努め、健康の維持増進に資するとともに誤嚥や喉詰りを未然に防ぐ対策を講じます。
  - ・また、職員にも給食を勧め、利用者の食事見守りの強化及び食事のチェック機能を強化します。
  - ・利用者の年齢・健康状態・障害状況等を考慮し、食べやすい食事の提供、落ち着いて食することができる環境を提供します。また食器、



設備・備品等の買い替えも順次進めます。

- また、行事の際の食事提供、食事支援について、嚥下力の低下や喉詰めのリスクが高くなっていることから、行事食の在り方を常に見直します。

#### (ア) ご家族との連携

- ご家族参加の行事を通じて、利用者のご家族のつながりを密にすると同時に、事業所と家庭との連携を図り、利用者が家族の一員としての自覚を持ち、情緒が安定するよう適切な支援を行います。
- 面会日に担当支援員との懇談・全体懇談を通じて利用者や事業所の状況を説明し、ご家族と密接な連携を図り、利用者の生活の質の向上を目指します。なお、現状のコロナ禍にあつては、面会が中止と成っておりますことから、状況に応じて、随時面会を開催していきます。

#### (イ) 地域社会との連携

- 地域資源の利用や地域行事への参加・ボランティアの導入を推進し、利用者が社会的に孤立しないような取り組みを進めると同時に、利用者自身によるボランティア活動を通じ、自己達成感の醸成や社会に対し開かれた事業所を目指します。さらに、絶えず地域社会との交流・連携を意識し、相互理解と共生社会の実現を目指す。なお、コロナ感染の状況を見ながら対応していきます。

#### (ウ) 会議

毎月または定期的に会議を行い、事業所の運営をスムーズに行います。なお、令和2年度より給食委員会と感染対策委員会を発展的に統合し、利用者の健康増進に向けた健康促進委員会を設置してきましたが、コロナ感染の拡大等、令和3年度は、給食委員会と感染対策委員会を分ける事とします。

なお、各種委員会に於いては、委員の人数を減員し、より機動的な委員会として、企画立案を役割とし、事業への委員以外の職員参加を促し、事業が全体化するようマネジメント機能を強化します。

•全体会議	•責任者会議(拡大責任者会議)	•チーフ会議	•支援会議
•ケース会議	•研修委員会	•行事委員会	•安心安全委員会
• <u>給食委員会</u>	• <u>感染対策委員会</u>	•権利擁護委員会	•広報委員会
•苦情処理委員会	•個人情報管理委員会	•第三者委員会	•生産班会議
•生活班会議	•活動班会議		

### 令和3年度(2021年)とよの障害者支援センター「まーぶる」事業計画

#### 1) 地域の相談支援機関としての役割

とよの障害者支援センター「まーぶる」には、地域で様々な状態にある障害のある人からの総合相談窓口としてさまざまな人たちの声に耳を傾ける。特に、幼少期に必要な支援が届かなかったことや、ライフステージの切れ目で支援が途切れてしまう事で、大人になってからさまざまな困難が浮き彫りになる場合も多い、しっかりと成人期を見据え、早期に必要な支援が届くよう、特に児童期の専門機関との連携を深め、世帯を支える取り組みを進める。

#### 2) 虐待・差別への対応

障害者虐待防止法・障害者差別解消法に基づき、虐待・差別等の相談窓口としての対応を行う。権利擁護に基づく相談支援のより一層の強化を図る。相談支援事業所として、権利擁護、虐待防止の視点を軸に、引き続き関係機関と連携し適切な相談支援を行う。

#### 3) 相談支援から見えてきた課題を制度に結び付ける

相談支援は、制度の谷間にいる障害のある人や家族、支援に結びつかず、孤立している人たちと出会うことが多い。多くが既存の社会資源では支えることが困難であり、新たなニーズ、複雑なニーズを抱えている。相談支援から見えてきたニーズを法人全体で共有し、北摂信愛園のビジョン構築に反映させていく。さらに豊能地区でのサービス調整会議や 相談支援連絡会議でも共有し、豊能町の課題として、豊能町地域会議と協力し、政策提言を行う。

#### 4) 地域生活を行っている障害者への支援の充実

地域で生活をされている障害児者が、安定した生活を継続することができるように保健・医療・福祉等との関係機関との密接な連携の下、利用者一人ひとりの意向、適性、障害特性、その他状況及びその置かれている環境に応じて支援する。



## 寄付紹介



◎ひまわりの種  
トヨノ部様

◎CD セット

※豊能町社協を通じて  
匿名（地域の方）



◎業務用扇風機3台  
プロボウラー

西村了様・吉田翔様  
大山由香里様

◎新年度のお菓子  
保護者会様



◎30,000 円

和田充弘様

◎タオル

野村作（株）様

◎金一封

◎壁掛け時計

久保理事長

辻康男様 峰朋子様 中野和雄様 山口典子様 吉崎勝利様 嵯峨喜代子様 辻貴代子様  
片瀬賢二様 中村清子様 長濱裕士様 重内良子様（順不同）

たくさんのあたたかいご寄附を、ありがとうございました。

## 北摂信愛園 ほっこり ニュース

ここでは、信愛園周辺の四季や  
ここで生活する皆さん、働く  
方々に起ったちょっとした出来  
事を紹介してまいります。



R3.4/20

燕の巣

まだまだ作り始め



燕は人家の軒先に巣をつくることで外敵から身を守ることによって知られていますよね。人に慣れている様子で近くに寄っても飛び去ることなく、親鳥が電線に止まっている姿を職員の手で写真に収めることができました。



R3.4/2

50周年記念植樹

しだれ桜

去年植樹された桜は今年も美しい花を咲かせていました。去年よりも花が多く咲いており、少しずつ成長しているのを実感します。



R3.5/26

燕のひな

すくすく育っています。



## ～保健部よりコロナ禍を振り返って～ 医務コラム

皆様におかれましては、コロナ禍で現在も大変なご苦勞をされていることと思います。

昨年、新型コロナウイルス感染症発生後より、当施設におきまして、施設内にコロナを持ち込まないよう、職員一人ひとりが自身の生活の抑制、自粛はもちろん、手洗い・うがい・手指消毒・マスク着用など感染対策に緊張感をもって努めております。

また、ご家族様・来園者様の訪園も引き続き中止し、施設におきまして、1日3回の消毒を兼ねた清掃活動や定期的なオゾン燻蒸も続けております。特に面会の制限については、皆様の心情を思うと大変心苦しく思っております。社会的にも、以前のような病院受診も難しいのが現状です。そのような中、協力医療機関の先生方にサポートしてもらいながら何とか保っている状況です。本当に利用者の方にもご不便おかけしております。

日本でもようやくワクチン接種が始まりました。しかし、これもなかなかスムーズに進んでいないのが現状だと思います。そして、ワクチン接種を一つの節目と考えておられる方も多いと思います。

しかし、ワクチン接種前でも接種後でも感染しないわけではありません。一人ひとりがウイルスに感染しないため、日頃から「うがい・手洗い・手指消毒・マスク着用（特に人込み内）」これらを身に付けているだけでも、感染拡大を防ぐことが出来ます。どんな小さなことでも、一人ひとりにできることをしっかり行っていく事が大事だと思います。そして、その行動が大切な家族を守る事にもつながります。

未だコロナ禍ではありますが、現状としっかり向き合いながら、これからも感染対策に取り組んでいきたいと思っております。



藤井朋子さん  
(ふじいともこ)

### 退職 あいさつ

5月31日をもって、退職させていただくことになりました。4年8か月という、長いようで短い期間でしたが利用者さんと過ごした時間は、本当に楽しかったです。たくさんの事を学ばせていただきました。皆様、大変お世話になりました。



社会福祉法人北摂信愛園では、障がい福祉に関心のある皆さま、法人・団体の皆さまからの寄付金の受付を行っております。

当法人による、社会福祉事業は国・地方自治体からの運営費によって実施されますが、加えて、法人・施設の更なる充実、利用者への処遇の向上及び新たなる施設の開設資金として、支援していただける皆さまの寄付金を財源とし障害福祉への助けとなればと考えています。

多くの皆さまのご支援、ご援助を心からお願い申し上げます。

#### ご寄付・ご寄贈の流れ

申込用紙（寄付申込書）をホームページにて、印刷のうえご記入いただき、社会福祉法人 北摂信愛園へ、FAXまたは郵送をお願いします。

寄付金：①個人 1,000円以上  
②法人 10,000円以上

\*インターネットの環境が整っておられない等、ホームページからの印刷ができない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### ◎振込による場合のお振込先

金融機関 ゆうちょ銀行  
記号番号 00950-8-334837  
口座名義 社会福祉法人 北摂信愛園

#### ◎他行から振り込まれる場合

金融機関 ゆうちょ銀行  
店名（店番） 099  
口座番号 0334837  
預金種目 当座  
口座名義 社会福祉法人 北摂信愛園

#### お問い合わせ・ご連絡先

社会福祉法人 北摂信愛園 事務局 担当 櫻井 迄  
〒563-0217 大阪府豊能郡豊能町川尻 72-5  
TEL: 072-739-0456 FAX: 072-739-0457

祝「信愛園通信」第20号!!

信愛園通信になって、ついに第20号目の発行となりました。前身の家庭通信と比べ、写真を多用に使い、カラーで印刷することによって、より利用者さんや施設の様子が伝わりやすい紙面へと変わってきました。取り上げる内容、作成ソフトの変更、委員メンバーの入れ替わり…などなど、試行錯誤の中での発行が続いていますが、いかがでしょうか。直接感想のお声を聞ける機会は少ないですが、楽しんで頂けているといいなあと思います(\*^-^\*)

これからも、より良い紙面づくりを目指して頑張ります！

広報委員長 新垣真由美

#### 保護者の皆さま

北摂信愛園では、利用している皆さまに対して、適切な支援を行うよう、スタッフ一同十分に留意しながら、日々の業務に努めております。もし、北摂信愛園の支援について、虐待の疑いなど何か気にかかることがありましたら、施設職員または第三者委員、下記連絡先までご連絡ください。

#### 北摂信愛園第三者委員

荒木 啓元（あらか ひろもと）さん 電話 070-5668-6115

メールアドレス [dai3.araki@gmail.com](mailto:dai3.araki@gmail.com)

相談・苦情受付 対応時間：月～金（祝日は除く）9:00～17:00

中 繁樹（なか しげき）さん 電話 072-738-6437

橋本 謙司（はしもと けんじ）さん 電話・FAX 072-739-2899

メールアドレス [hashimoto-kenji@leto.eonet.ne.jp](mailto:hashimoto-kenji@leto.eonet.ne.jp)

大阪府福祉部障がい福祉生活基盤推進課 電話 06-6944-2295

福祉サービス苦情解決委員会（大阪府社会福祉協議会運営適正化委員会）

#### 編集後記

先日、携帯電話をズボンのポケットに入れたまま洗濯機の中へ・・・  
やってしまいました。数日間、携帯電話がないという不安にいてもたってもいられないと思いきや、意外と落ち着いている自分がいました。むしろ、時間が過ぎるにつれていつもより穏やかな気持ちにさえなっていました。依存というものは本当に恐ろしいですね。携帯電話と一緒に、私の心まで洗濯された今日この頃です。

松崎吉考